

教育改革をさらに進めていきます！！

～ 第3期教育改革プランを策定中 ～

教育委員会では平成 18 年度からは第 1 期教育改革プラン、平成 23 年度からは第 2 期教育改革プランを定め、教育改革を進めるための各種施策に取り組んできました。現在、平成 28 年度から 31 年度までの 4 年を対象とした「第 3 期教育改革プラン」を策定しています。

第 3 期教育改革プランの策定

第 2 期教育改革プランの成果と課題

第 2 期プランでは様々な施策を進めてきました。その結果、不登校出現率が全国平均を下回るなど成果が上がっているものや、学力など全国平均との差は縮まる傾向はあるものの超えるまでに至らず課題が残るものがありました。

教育に関する大綱

久留米市は、平成 27 年 11 月に、「教育に関する大綱」を策定しました。大綱は、「一人ひとりを大切に、未来を担う人づくり」を基本理念に、学校教育や社会教育、文化芸術、スポーツなど、各分野の施策の方向性を示しています。

第 3 期教育改革プランは、**教育に関する大綱を踏まえるとともに、これまでの取組の「効果の持続」と「課題の改善」をキーワードに推進します。**

プランの目標

ふるさと久留米を愛し、ともに社会を生き抜く力の育成

久留米への愛着と誇りをもち、将来への貢献を思って生きるとともに、周りの人と協動的・協同的に、そして自然環境との関係を意識しながら、変化の激しい社会をたくましく生きる力（まなぶ力・つながる力・やりぬく力）の育成を目標としています。

めざす姿

夢に向かって学ぶ「くるめっ子」

将来の夢や希望、目標に向かって志をもち、仲間と切磋琢磨し学び続けることができるように、めざす子どもの姿を『夢に向かって学ぶ「くるめっ子」』と設定します。また、「くるめっ子」の基本として【あいさつ・そうじ・自学自習】を大切に、学校や家庭で日常的な子どもの姿にあらわれるように指導の充実を図ります。

「くるめっ子」の基本は
○あいさつ
○そうじ
○自学自習 ばい!!



施策の体系

3つの重点と4つの視点による施策の推進

目標やめざす姿を達成するために、3つの重点から取組を進めます。また、3つの重点をつらぬく4つの視点を設定し、重点に係る施策を展開する上での一貫性や関連性をもち、効果的な取組を推進します。

重点 1 わかる授業

基礎的・基本的な知識の定着、思考力・判断力等を育成し、授業がわかり、学ぶ楽しさを味わうことができる子どもを育てます。

重点 2 たのしい学校

安心・安全な学校生活を送れるようにし、自分と他者の大切さを認め、共感・協調できる子どもを育てます。

重点 3 久留米版コミュニティ・スクールの推進

地域学校協議会を充実させ、学校・家庭・地域の信頼関係や協働体制をつくります。

一貫性・関連性

視点 1 人権・同和教育の推進

視点 2 外国語教育の推進

視点 3 特別支援教育の推進

視点 4 小中連携教育の推進

笑顔で学ぶ

久留米市教育委員会発行
No. 12 (平成 28 年 3 月)

くるめっ子通信

久留米市教育委員会 総務・学校教育課
〒830-8520 久留米市城南町 15 番地 3
TEL0942-30-9213 FAX 0942-30-9719
E-mail:kyousoou@city.kurume.fukuoka.jp



地域の中で、出会う・学ぶ！！

人権のまち・屏水フェスタ 2015



屏水中3年生による「河口」の合唱

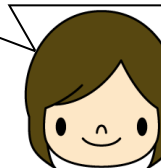
平成 27 年の 10 月から 12 月にかけて、久留米市の 6 中学校区（江南中・明星中・諏訪中・屏水中・牟田山中・田主丸中）で、人権フェスタ・つどいが開催されました。

各地の人権フェスタ・つどいは、幼稚園・保育園（所）や学校および地域から、人権について学んだことを発信するなど、多くの住民が参加し、交流する場として定着しています。

また、他の中学校区でも、人権講演会や学習会、フィールドワークなどの多様な取組が行われています。

かけがえのない人権について考える機会を通して、人と人とのつながりを深めながら、学校と地域社会が一体となった人権のまちづくり事業を、これからもしっかりと進めていきます。

このフェスタが続いているのは、地域のみなが協力し合っているからだと思います。まちがひとつになったようで、心が温かくなりました。
<生徒のアンケートより>



人権作品の展示の様子



バザー（明星中校区人権のつどい）

学ぶ楽しさを伝えます！！

～出前理科実験講座～

市内の7つの小学校において、3学期に福岡教育大学の伊藤克治教授から、出前理科実験講座を実施していただきました。

この講座は、子どもの科学への興味・関心を高めるとともに、これまでに学習している空気や光といったことについての、理解を深めることがねらいです。

また、学びに関心を持たせ、家庭学習への意欲にもつなげることができるといった目的で実施されました。空気や光といった子どもにとって身近なもの、その不思議さにつれる実験は、驚きの連続でした。

写真は、西牟田小学校6年生の子どもたちが光の三原色の実験に熱心に取り組んでいる様子です。実験後、御指導いただいた伊藤教授に意欲的に質問する子どもたちの姿が見られました。

※実施校：西牟田小、宮ノ陣小、安武小、大善寺小、東国分小、下田小、弓削小



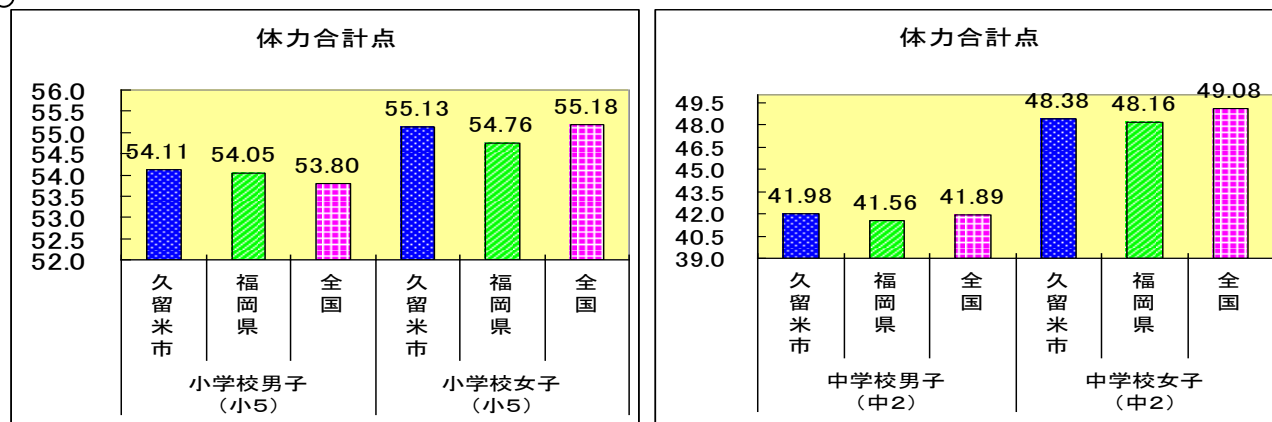
美しい光の三原色に感動する姿



伊藤教授に熱心に質問する姿

体力テストで全国平均を上回りました！（小5男子・中2男子）

～H27年度体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から～



平成27年5月から7月までに実施した体力・運動能力、運動習慣等調査では、小学校5年男子と中学校2年男子において、調査8種目の体力合計点が全国平均を上回る結果となりました。

また、小学校5年女子、中学校2年女子についても、全国平均にはわずかに届かなかったものの、県平均を上回る結果となっています。

今後も各学校の体育の授業や1校1取組運動のさらなる充実を図り、子どもたちの体力向上につなげていきます。



1校1取組の様子

宮ノ陣小：サスケⅢ（長縄）

※1校1取組運動：体力の課題解消を目指す学校独自の運動

希望をもって中学校に来てください！！

～小中連携教育の取組～

1月18日（月）から20日（水）にかけて、市内の各中学校において、小学6年生とその保護者を対象にした「入学説明会」が行われました。

この説明会では、中学生の寸劇による学校生活の紹介や校則の説明がなされるなどの工夫がされていました。

中学生は少しでもわかりやすいようにと6年生を気遣いながら会を進め、先輩としての頼もしい姿を示すことができました。また、6年生は中学校の授業を体験したり、部活動を見学したりして、中学校生活の一端を知ることができ、中学校生活への期待を高めることができていました。

このほか普段から、中学校の先生が小学校に出向いて出前授業を行ったり、小学校と中学校の先生が集まって学習や集団への適応を促すための話し合いを行ったりして、小中連携教育を推進しています。



生徒会が寸劇で学校生活を紹介



英語の授業を体験している小学生

教師力の向上を進めています！！

～久留米市教育センター研究発表会～

久留米市教育センターの研究発表会が、2月12日（金）に開催されました。

久留米市教育センターでは、断続研修員や調査研究員の先生たちが、一年間の継続的な研究に取り組んでいます。研究発表会では、教科等の学習指導の工夫・改善を目指して取り組んだ断続研修員や久留米市の教育課題の解決を目指して取り組んだ調査研究員が、研究の成果をより多くの学校に広げるために、分科会や全体会で報告を行います。

本年度は、12名の断続研修員と3つの調査研究班が研究の成果を報告しました。

断続研修員の報告では、国語や算数、道徳などの分科会に分かれて、効果的な指導の在り方について、参加した先生と熱心に意見を交わしました。

全体会では、調査研究班が、理科教育の充実や人権のまちづくりに向けた学校の取組、ICTを活用した授業を推進するための具体的な方策を報告しました。

特に、理科教育の充実やICTを活用した授業の推進については、校内研修ですぐに使える研修教材を開発しており、各学校における教職員研修の充実と教師力の向上への期待が高まりました。



調査研究班の研究報告の様子